

第六期長期計画・第二次調整計画策定委員会 傍聴者アンケート
第5回実施分（令和6年10月22日開催） 自由記載欄
【傍聴者 9名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・委員会の中で、率直に質問されていた方がいることで、武蔵野市が中学校の建て替え事業をこれからの課題として持っていることや、予算の問題を新ためて知ることができました。
- ・委員の財政のことは財政のところに書くという提案はすごく納得いきます。スッキリします。どこにどれだけかかるか分からないというのは、公共施設等総合管理計画でやればよいし、長計に書くなら行財政に道路から何から一覧表を載せれば分かりやすいのではないのでしょうか。
- ・武蔵野市の財政は緊急事態だということを、学校のところに一文を足すだけではまったく伝わりません。緊急事態を伝えるなら財政緊急事態宣言を発したらいかがでしょうか。小金井市は「ごみ非常事態宣言」ってやってましたよ。
- ・80年代と比べて児童生徒数が6割に減っているから面積も6割にするというのは全く賢くない。まずは150年続いた考え方に決別すべきでしょう。しかも、市長が「これからの教育」に対して校舎をどうするかを話していこうと言っているのに80年代の話を持ってくるのは市長が諮問している意図と異なります。
- ・統廃合の話は六中の建て替え問題が原因だということであれば、全市的な小中学校のあり方の検討なんてまったく必要ないでしょう。六中の建て替えが困難なので〇〇を検討すると書けばよいだけです。市長の白紙撤回が意味なさなくなるけど。いろんな人の思惑があるでしょうからここは情報を出し切って課題を整理しないと今後ややこしくなりそうです。
- ・「今後の学校改築のあり方の検討」について。ある委員が発言されたように、学校改築の部分にだけ「財政面なども含めて検討」と書いてあることにものすごく違和感があります。『どの計画も財政面を含めた検討をするのは同じなのに、なぜ学校改築のこの部分にだけ「財政面なども含めて検討」と書き込まねばならないのか？』というのが委員の意見の趣旨なのだと理解していましたが、そんなに他の委員から同意を得られない意見だったのでしょうか。
- ・学校改築にかかる財政支出が重いから「財政面なども含めて検討」と特に書き込むべきという理屈なら、まだどの程度の財政規模になるかわからない吉祥寺イーストエリア・パークエリアの項

にこそ「財政面なども含めて検討」書きこむべきではないでしょうか。

- ・学校改築1校あたり70～80億円が必要だからなるべく学校数を減らしたいという考えは財政面では正義かもしれないが、「2tトラックしか入れない」を理由に六中を、六中と近く改築前だからと二中を狙い撃ちにされた形となり、地域住民としては到底納得できない。これを「全市的な視点から中学校の適正な数や将来を見据えた校舎のあり方について…検討」と言うのか？ただの人柱ではないか。「二中・六中の統廃合は白紙に」という小美濃市長の公約は非現実的で実現不可能だということなのではないでしょうか。

- ・地域住民としては「2tトラックしか入れない」から六中の学校改築ができないのなら二小向かいの第二しろがね公園と六中の場所を入れ替えればいいと思うし、よりによって生徒数がほぼ400名規模の二中と統合なんてあり得ないと思う。もし二中と六中を統廃合して生徒数650名ぐらいの大規模校を新設した場合、教育環境の良い大規模校を運営・維持していく覚悟が市や教育委員会にあるのでしょうか。自分の子どもが私立のマンモス一貫校に進学して痛感したのは、児童生徒数が多くても良好な教育環境を保っているのは広い敷地にカネとヒトがじゃぶじゃぶつぎ込み続けられているからこそ！だということ。現在の二中の敷地(もしかしたら旧桜堤小跡地も付け足したとしても)に700名規模の大規模中学校を作るとして、市や教育委員会はそれなりのカネとヒトを提供し続けられますか？長い目で見たら六中の学校改築を工夫して行う80億円のほうが安上がりかもしれませんが、いかがでしょうか。

また、二中と統合した場合はどなたかが指摘していたように境南町1丁目(武蔵野日赤のあたり)から二中までは徒歩40分はかかるし、バスだと2本乗り継がねばならない。いっそ学校改築の数を減らすことは諦めて境南地域に中学校を新設した方がいいのではないかという、財政面を一切無視した議論が起こりかねない。

- ・「テーマ別論点集 各種意見集約表」について、189番の意見について見出し版赤字部分のような回答が許されるのであれば、学校改築のところでももっと手厚い回答がほしいです。地域は学校改築計画の議論にゆだねる事を完全には納得していません。

- ・議事の最終盤で取り上げられた、「テーマ別論点集 各種意見集約表(案)」189における副委員長

の追記(案)に関する議論を、大変興味深く拝聴しました。
時系列を振り返れば、六長の策定作業と自治基本条例の策定作業は並行的に行われていましたが、六長の議論において自治基本条例を意識した議論は行われていなかったと記憶しています。しかし、六長の調整計画の策定作業においては、自治基本条例の理念に沿った自治行政の推進を前提に、各委員のご尽力により、法的整合性を担保すべく丁寧な議論がなされてきました。

今回、言わば政権交代を果たした新市長の選挙戦における公約を、市の計画行政の枠組みにどう落とし込んでいくかを検討する場が設けられ、引き続き、丁寧かつ真摯な議論が行われていることを、一市民として、嬉しく受け止めております。

さて、今回、意見集約表の189への回答という形で、吉祥寺イーストエリアの街づくりについて、様々な民間事業者による不動産取得と収益性の高い事業の展開が加速化している中で、基本条例に明記されている行政の役割が十分に果たされているのか？という問題提起が、副委員長からなされました。

委員長の仰るように、市長の諮問に対する答申の範疇を超えた意見陳述であることは確かでしょうが、コロナを挟み、六長策定時とは経済社会環境が大きく変わっている現状を踏まえれば、行政の対応にスピード感と柔軟性が求められていることも、まごうことなき現実かと存じます。

次期長期計画策定のスケジュールが2年先延ばしにされたことを考慮するなら、少なくとも、吉祥寺イーストエリアおよびパークエリアの街づくりにおける問題状況と、7長の策定が開始されるまでの間に行政の側が留意すべき課題について、策定委員会の皆様の認識と知見を、何らかの形で書き留めて頂いても良いのではないかと、感じました。

- ・今回サテライト会場と書かれていましたが、傍聴者のための会場なので間違っています。最初からお伝えし続けていますが、傍聴制度は密室で行われることを防ぐ趣旨で設けられた制度なので、別の部屋では意味がありません。このようなやり方は傍聴制度を骨抜きにしていると思います。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・こういった形で公開で議論の場を知る機会を与えてくださり感謝しております。ありがとうございます。
- ・物価高騰など出費に関わることは話題になりますが、税収はどうなるのでしょうか。合わせて話さないと意味ないのではないのでしょうか。
- ・今回も忌憚のない議論が交わされていてとても良かったです。子どもプランなど他の会議も傍聴していますが、委員同士の活発な議論が交わされている会議はあまりない。議論が活発に交わされる会議は信頼できるし、傍聴していても勉強になります。しっかりとした資料が提供されるのも素晴らしいです。
- ・何度でも声を大にして伝えたい。会議の直前でも最中でもオンライン傍聴の申し込みができるのは素晴らしい！他の会議でも見習ってほしいです。
- ・小中学校の建て替えおよび統廃合に関する記述において、財源の視座を加えるべきか否かという議論がありましたが、熟議デモクラシーの立場からすれば、市民が、財源の問題をしっかりと認識して議論することこそ肝要と考えます。
その意味で、あえて付記することこそ、市民自治の理念に見あっているように、感じました。

- ・長期計画は市民にとって、とても重要な計画です。このような重要な計画にもかかわらず、オンライン会議が多すぎるのではないかという声は、当初から多数伝え続けられています。対面の重要性が見直されている今日、このような開催の仕方は、国家の主権は国民にある、という民主主義の視点からおかしいと思います（しかも画面に書類が大写しされたまま画像が長い時間止まっていたこともありました。委員の方々の顔も見えず、これはひどいな、と思いました）。

※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。
また、委員名については削除しています。